

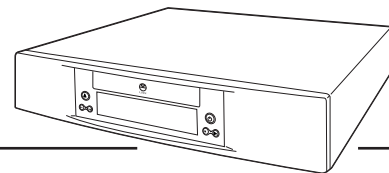


LINN

# MAJIK CD

プレーヤー

---



オーナーズマニュアル

日本語



## 安全に関する重要事項

製品のリアパネルまたは底面に付されたマークについて：



危険な電圧が存在することを警告するものです。  
感電を引き起こす可能性があるので注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、  
操作、メンテナンス、サービス上の重要な事項を示すマークです。

本機を主電源に接続する場合

### 注意

**感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。**

ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。

サービスは有資格の技術者に一任してください。

電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。

ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

### 警告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。感電の危険があり。一開けないでください。

### 電源コードとプラグ

販売する国により、製品には改造不可の電源プラグが付いています。

交換用電源コードは販売店で求めください。プラグ交換が必要な場合、注意して処分してください。導線が露出したプラグをコンセントにつなぐと危険です。

茶色のワイヤはLiveピンに接続します。

青いワイヤはNeutralピンに接続します。

緑/黄色のワイヤはEarthピンに接続します。

少しでも疑問があれば、販売店が技術者にご相談ください。



製品のフューズおよび消費電力については、各製品のリアパネルあるいは底面をご参照下さい。

## 安全注意事項

1. 説明を読む：
2. 説明書を保管する：
3. 警告に従う：
4. 指示に従う：
5. 本機をバスタブ、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、プールサイドなど、水のそばや湿気の多い場所では使用しないでください。
6. お手入れは、乾いたクロスで行ってください。
7. 換気口はふさがらないでください。製造者の指示に従って設置してください。適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をヘッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適当です。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ（アンプを含む）などの熱を発生する物のそばに設置しないでください。
9. 安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかにアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
10. 電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかったりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出る個所に注意が必要です。
11. 製造者指定の付属品以外は使用しないでください。
12. スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、製造者指定の物、または本機と共に販売された物以外は使用しないでください。
13. 雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
14. サービスは有資格の技術者に一任してください。電源コードやプラグの破損、製品内部に異物や液体が入ったとき、製品が雨や湿気にさらされたとき、正常に作動しないとき、あるいは製品を高いところから落としたときなどは、専門技術者による修理調整サービスが必要となります。

15. **壁や天井への取付**：壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。
16. **電源**：必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
17. **電源プラグ**：本体の主電源を切断するには電源プラグを抜いてください。電源プラグは常に手の届きやすい場所に設置します。本製品を使用していないときは、電源スイッチ (該当する場合) を使用してください。
18. **電線**：屋外アンテナは、電線から離して設置してください。
19. **屋外アンテナの接地**：本製品に屋外アンテナを接続する場合は、電圧サージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。米国の場合、設置に関しては National Electrical Code ANSI/ NFPA 70 の 810 項を参照してください。
20. **電話線**：本製品は、特に指示のない限り、電話線に接続しないでください。
21. **異物や液体の混入**：本機器内部に異物や液体を入れないでください。水しぶきのかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に乗せないでください。
22. **火のついたろうそくなどの裸火が本製品に触れないようにしてください。**
23. **本製品は温和な気候や熱帯気候で使用できるよう設計されています。**

## CE 遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令 73/23/EEC および電磁互換性に関する指令 89/336/EEC (92/31/EEC および 93/68/EEC により修正) に準拠することを明言いたします。

当該製品が 73/23/EEC (LVD) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN60065	2002	一般要件 マーキング 危険性のある放射物 通常条件における発熱 通常の作動条件における感電の危険 作動条件 絶縁要件 故障の要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続と機械的な固定具 感電に対する保護 安定性と機械的な危険 耐火性

当該製品が 89/336/EEC (EMC) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN55013	2001	誘導排気
EN55013	2001	吸収排気
EN55020	2002	免責

## FCC 通告

### 注記

本機器は試験審査の結果、FCC 規則第 15 部により、クラス B デジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、妥当な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切ったり入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレシーバーの距離を離す。
- レシーバーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。

## 著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2006 Linn Products Ltd.

Linn Products Limited, Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham, Glasgow,  
G76 0EQ, Scotland, United Kingdom.

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形で保存、転送をすることはできません。

本書記載の商標について：Linn (リン) および Linn のロゴは、Linn Products Limited の登録商標です。MAJIK および KNEKT は Linn Products Limited の商標です。

本マニュアル記載事項は情報提供のみを目的としたもので、通告なく変更されることがあります。またリン・プロダクツ・リミテッドが内容を保証するものではありません。

リン・プロダクツ・リミテッドは本マニュアルに誤りや不正確な記述があつたとしても、それに対する責任を負うことはありません。

本製品は、Microsoft 社の知的財産権により保護されています。Microsoft 社あるいは Microsoft 社によって承認された関連企業による許可なく、本製品の技術を使用または配布することは禁止されています。

Digital Theater Systems, Inc. のライセンス契約によってアメリカ合衆国特許番号 5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762、6,487,535 他、米国および世界中の特許および出願中の特許に基づいて製造されています。「DTS」および「DTS 2.0」は Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。Copyright 1996, 2003 Digital Theater Systems, Inc. 無断転載・複写を禁じます。

MPEG Layer-3 オーディオ・コーディング・テクノロジーは、Fraunhofer IIS and Thomson よりライセンス許可取得。

リン・プロダクツ・リミテッドでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

英国登録意匠番号：3021662

PACK 1159

## 目次

### はじめに

- MAJIK CD プレーヤー
- ディスクのタイプ

### 設置

- 開 梱
- 設置する
- 接続する
  - 背面パネル
  - プリアンプ/AVシステムコントローラーに接続する
  - デジタル音声入力を備えた装置に接続する  
(デジタル/アナログ変換器 [DAC] など)
  - 電源に接続する

### 操作

- コントロールキー
  - 前面パネル
  - リモコン
- スタンバイ
- 基本コントロール
  - 開 閉
  - ロードと再生
  - 一時停止
  - 停 止
- ディスクナビゲーションコントロール
  - トラックのスキップ
  - サーチ
  - 早送りスキャン
  - ダイレクトトラックアクセス

- その他のコントロール
  - Repeat (繰り返し再生)
  - Repeat disc (ディスクの繰り返し再生)
  - Repeat track (トラックの繰り返し再生)
  - Repeat A-B (A-Bの繰り返し再生)
  - Shuffle (シャッフル)
  - ディスクプログラミング  
(「Include (追加)」機能と「Exclude (除外)」機能)
  - 「Include」機能
  - 「Exclude」機能
  - ディスプレイ
  - MP3ディスクを再生する

### セットアップ (ユーザーオプション)

- Setup Language (設定言語)
- Display Configuration (ディスプレイ設定)
- Audio Configuration (音声設定)
- Unit Configuration (機器設定)

### 技術仕様

### 保証とサービス





## はじめに

### MAJIK CD プレーヤー

LINN MAJIK CD プレーヤーは先進的な入力機器です。CD、HDCD、DTS オーディオディスクの極めて高水準な再生のみならず、CD-RやCD-RWに収録された非圧縮コンテンツや昨今非常にポピュラーになったMP3のような圧縮フォーマットからも素晴らしい音質の音楽再生を実現します。

優れたオーディオ機器を数多く製品化してきた経験は、このエンジニアリングの粋というべきプレーヤーにも活かされています。将来的な要求にも対応する柔軟性はもちろん、とりわけ最も重要なサウンドクオリティの高さにきっと驚かれるでしょう。

MAJIK CD プレーヤーは、MAJIK KONTROL プリアンプおよびMAJIK 2100 パワーアンプと完璧なコンビネーションを構成するのももちろん、トータルシステムではなく既存の機器との組み合わせにおいても音楽コレクションの再発見をもたらしてくれるでしょう。

MAJIK CD プレーヤーは多年にわたり色褪せることのないパフォーマンスを提供してくれるでしょう。どうぞお楽しみ下さい。

### ディスクのタイプ

下記ロゴの付いたディスクまたは下記タイプのフォーマット使用のディスクは、本機と完全に互換性があります。



#### 重要事項

上記全てのディスクについて国際的な互換性を確保するためあらゆる努力を行っていますが、現在販売されているまたは今後販売予定のあらゆるディスクに対し、本機の全ての機能が完璧に動作することを保証するのは不可能です。弊社では、現在入手可能なディスク多種をテストしてきましたが、現在販売されている多くのディスクが自社の公表する仕様や認証済みの正式仕様に合致していません。このため、特定のディスクが再生できないことに対し、責任を負うことはできません。本機で再生できないディスクがあり、他社のプレーヤーで再生することができたとしても、それは本機に欠陥があることを示すものではありません。再生に問題があるディスクの詳細についてはウェブサイトに掲載されていますので、本機器の性能に対して判断を下す前にこうした公表データを検討なさるようお願いいたします。本機の性能向上に役立つこともあるため、疑わしいディスクを提出してくださることを歓迎するものではありませんが、そうしたディスクの再生方法を学ぶ可能性について弊社が何らかの保証をしたという根拠に基づいてエンドユーザーからディスクを受領することはできません。

#### 特殊形状ディスク

ハート型、名刺サイズなどの特殊形状ディスクは再生しないでください。プレーヤー破損の原因となります。

## 設置

### 開梱

本機には、以下の付属品が同梱されています：

- 発光リモコン
- リモコン用単4乾電池 (2本)
- 電源コード
- 接続ケーブル (黒) 2組
- 本マニュアル

将来の輸送などに備えて、梱包材や箱は保管しておいてください。

### 設置する

本機はたいていどんな場所にも手軽に設置が可能です。ただし、以下の点にご注意ください：

- 本機は水平で安定した丈夫な面に置いてください。
- 本機はディスプレイに日光 (直射日光、拡散光、反射光) が当たらないところに置いてください。本機の赤外線リモートセンサーが日光の中の赤外線をキャッチし、本機の動作に悪影響を与えることがあります。同様に、蛍光灯や省エネタイプの照明など人工光の中にも、本機の動作に同じような影響を与える赤外線を放出しているものがあります。
- 本機はラジエーターやパワーアンプなど、発熱量の多いユニットの真上や隣接した場所に設置しないでください。またこのような装置と一緒にキャビネットに入れないでください。本機自体はあまり熱を発生することはありませんが、放熱のための換気用に本機の両側、後部、上部に若干の空間 (理想としては10 cm / 4 インチ) を取ることをお奨めします。

#### 重要：

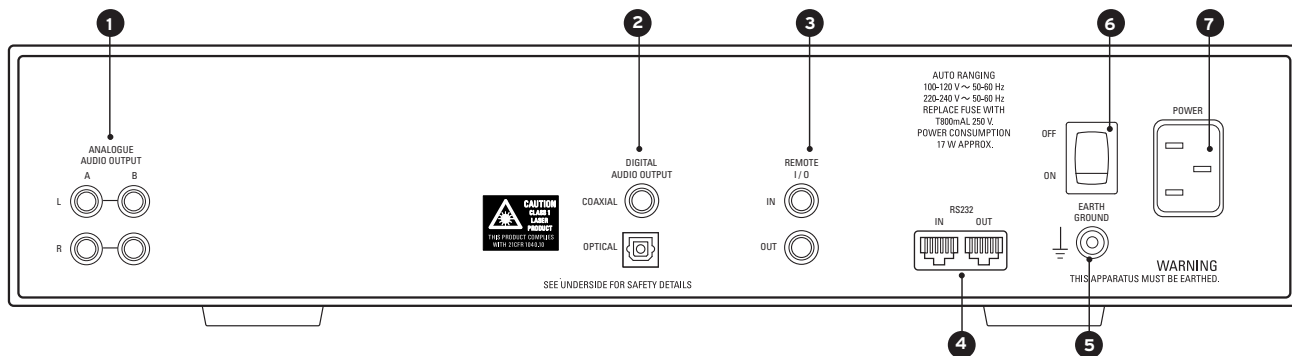
ガラス戸の向こうに本体を置いた状態でディスプレイを開けないようご注意ください。ディスプレイのメカニズムを損なう場合があります。

## 接続する

### 重要

接続を行う前に、システム内の全製品の主電源を切断してください。

### 背面パネル



#### 1 ANALOGUE AUDIO OUTPUT (ライン出力)

「ラインレベル」アナログ音声出力。プリアンプやAVシステムコントローラーへの接続用。

#### 2 DIGITAL AUDIO OUTPUT (デジタル音声出力)

デジタル音声入力を備えた装置との接続用 (デジタル/アナログ変換器など)。COAXIAL (電氣的) および OPTICAL 接続が可能です。

#### 3 REMOTE IN/OUT (リモート入出力)

Linn KNEKT システムの Linn Line Remote コードを接続する場合、または他の弊社製品とのリモートコマンドの送受信を中継する場合に使用できます。

#### 4 RS232 IN/OUT (RS232 入出力)

RS-232 接続用。RS232 コントロール製品を「IN」端子に接続して、本機を制御するのに使用できます。「OUT」端子は RS232 がコントローラ可能な他の製品に RS232 コマンドを中継する場合に使用できます。

#### 5 EARTH GROUND (アース)

主電源にアースが取れない場合、本機をアース端子に接続します。

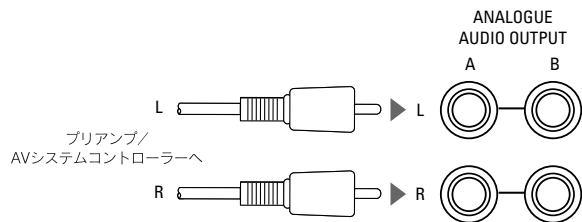
#### 6 POWER スイッチ

アンプの電源のオンオフを切り換えます。注記 — これはスタンバイスイッチではなく、本機の主電源を切断するものです。

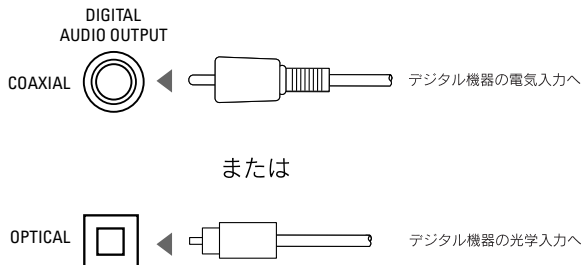
#### 7 POWER

下記「電源に接続する」をご参照ください。

## プリアンプ/ AVシステムコントローラーに接続する



## デジタル音声入力を備えた装置に接続する (デジタル/アナログ変換器 [DAC] など)



## 電源に接続する

本機を主電源に接続するときは、必ずアースしてください。

アース端子が付いた付属の成形電源コードを使用してください。アース端子の付いていない電源プラグ、ソケット、アダプターは絶対に使用しないでください。国の規則によっては、電源コードにヒューズ入りプラグが付属している場合があります。その場合、ヒューズ交換の際には必ず同タイプ・同定格のものを使用してください。

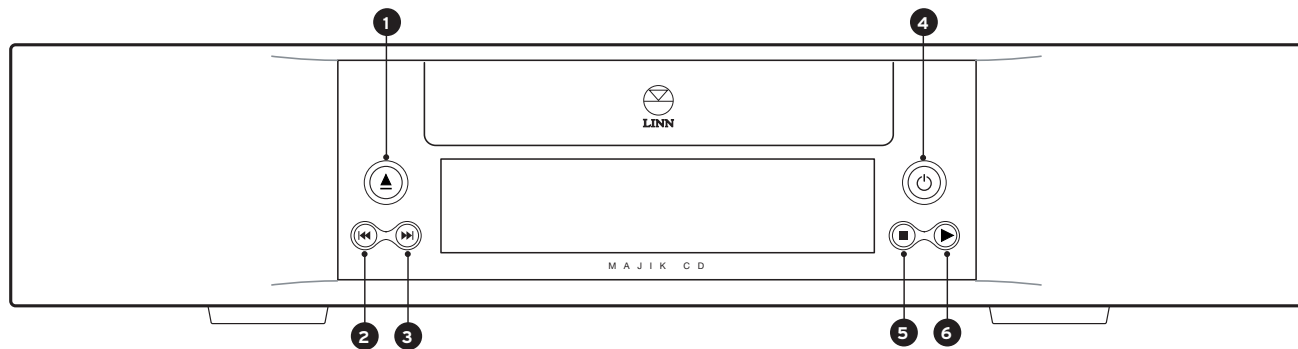
本機は世界の全ての地域の電源に接続して使用でき、電圧を変換する必要はありません。自動電圧選択 (AVS) 機能は本機設計の不可欠な一部であり、電源は商用電源に応じて自動的に調整されます。

本機では従来の設計に見られる、大型で重量があり騒音を出し効率の悪いトランス、整流器、大容量コンデンサー回路の代わりに、スイッチモード電源 (SMPS) が使用されています。弊社設計のスイッチモード電源は、品質の低い商用電源に対しても優れた許容度を備え、条件がある程度悪い場合でも最善の状態に極めて近い動作を実現します。

## 操作

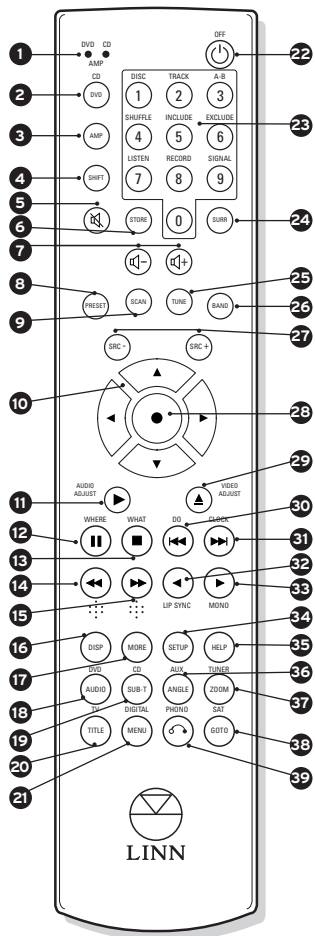
### コントロールキー

#### 前面パネル





- ❶ 開閉  
ディスクトレイの開閉
- ❷ 後ろにスキップ  
前トラックにスキップ
- ❸ 前にスキップ  
次のトラックにスキップ

- ❹ スタンバイ  
本機のスタンバイモードの切り替え
- ❺ 停止  
CD再生の停止
- ❻ 再生  
CD再生の開始









## リモコン MAJIK CDにおいては、グレイのキーは機能しません

- ① **LEDs** リモコンから信号が送信されているときに点灯。  
LEDのパターンによって、リモコンの現在の操作モードが表示される。下記「リモコンモード」を参照
- ② **DVD** リモコンモードをDVDプレーヤーコントロール用に変更。  
(SHIFT+DVD: リモコンモードをCDコントロール用に変更)。下記「リモコンモード」を参照。
- ③ **AMP (アンプ)** リモコンモードをプリアンプコントロール用に変更。下記「リモコンモード」を参照。
- ④ **SHIFT** シフト機能を使用可能にする。下記「リモコンモード」を参照。
- ⑤ **🔇 (ミュート)** プリアンプ機能。音声のミュート/ミュート解除
- ⑥ **STORE** ディスクプログラミング機能。プログラムにトラックを保存。  
チューナーやプリアンプの設定を保存する場合にも使用される。
- ⑦ **🔊- (volume -) / 🔊+ (volume +)** プリアンプ機能。ボリュームの増減
- ⑧ **PRESET** チューナー機能。チューナーのプリセットを確認 (各プリセットを見るには、△ / ▽ キーを使用)
- ⑨ **SCAN** チューナー機能。スキャン機能を使用可能にする (スキャンするには、△ / ▽ キーを使用)
- ⑩ **△ / ▽ / ◀ / ▶** メニューを選び、設定を調整する
- ⑪ **▶ (再生) / AUDIO ADJUST** ディスクの再生/音声の設定変更
- ⏸ **(一時停止) / WHERE** ディスクの一時停止/Linn KNEKT RCUのルームまたはゾーンを選択
- ⏹ **(停止) / WHAT** ディスクの停止/Linn KNEKT RCUのソースの選択
- ⏮ / ⏭ **⏮ / ⏭** ディスクを早送り/サーチ/Linn KNEKTシステムの機能を実行
- ⏩ / ⏪ **⏩ / ⏪** ディスクを早戻し/サーチ/Linn KNEKTシステムの機能を実行
- ⑬ **DISP (ディスプレイ表示)** 有効な表示モードを選択
- ⑭ **MORE** 特定の製品に対する特別な機能やメニューを使用可能にする (本機では機能しない)
- ⑮ **AUDIO / DVD** AVソースで音声言語を選択/プリアンプまたはAVコントローラーでDVD入力を選択
- ⑯ **SUB-T (字幕) / CD** AVソースでの字幕使用を可能にし、使用できる字幕を選択/プリアンプまたはAVコントローラーでCD入力を選択
- ⑰ **TITLE / TV** AVソースでタイトルメニューを使用/プリアンプまたはAVコントローラーでTV入力を選択
- ⑱ **MENU / DIGITAL** AVソース機能。ディスクメニューの使用/プリアンプまたはAVコントローラーでデジタルソースを選択

- 22  (スタンバイ) 本機のスタンバイモードのオン/オフ切り替え。「SHIFT」+  を押すと、個別に「OFF」のコマンドが送られる — 特定のコントロール用に必要。
- 23 数字0～9数字キー\* トラック、チャプター、ラジオ周波数などにダイレクトに飛ぶ。

#### 数字キーシフト機能

- **SHIFT + 1**: ディスクの繰り返し再生 ● **SHIFT + 2**: 再生中のトラックの繰り返し再生 ● **SHIFT + 3**: ディスクのセクションの繰り返し再生
- **SHIFT + 4**: シャッフル機能 ● **SHIFT + 5**: トラックの追加 — ディスクプログラミング機能 ● **SHIFT + 6**: トラックの除外 — ディスクプログラミング機能
- **SHIFT + 7**: プリアンプ機能 — RECORDからLISTENへの切り替え ● **SHIFT + 8**: プリアンプ機能 — LISTENからRECORDへの切り替え
- **SHIFT + 9**: チューナー機能 — 信号機能の呼び出し

- 24 **SURR (サラウンド)** AVソース機能。有効なサラウンドサウンドオプションを選択
- 25 **TUNE** チューナー機能。チューニング機能を使用可能にする (チューニングするには、△ / ▽ キーを使用)
- 26 **BAND** チューナー機能。周波数帯域の変更
- 27 **SRC- / SRC+** プリアンプ機能。ソースの変更
- 28 「enter」 選択したオプションの実行
- 29  (開閉) / **VIDEO ADJUST** ディスクトレイの開閉/ビデオ設定の変更
- 30  / **DO** ディスクの前トラック/チャプターの選択/Linn KNEKTシステムの機能の選択
- 31  / **CLOCK** ディスクの次のトラック/チャプターの選択/Linn KNEKTシステムの機能の選択
- 32  / **LIPSYNC** ディスクの早戻しスキャン/AVソースのlip sync調整
- 33  / **MONO** 早送りスキャン/プリアンプで「mono」とステレオモードの切り替え
- 34 **SETUP** セットアップモードの開始と終了
- 35 **HELP** ヘルプモードへのアクセス
- 36 **ANGLE / AUX (補助)** AVソースオプション。撮影アングルを選択 (ソースによっては使用不可)/プリアンプまたはAVコントローラーでAUX入力を選択
- 37 **ZOOM / TUNER** 画像の拡大/プリアンプまたはAVコントローラーでチューナー入力を選択
- 38 **GOTO / SAT (衛星)** ディスクの特定のタイトル、チャプター、トラックあるいは時間へジャンプ/プリアンプまたはAVコントローラーでSatellite (衛星) 入力を選択
- 39  (復帰) / **PHONO** AVソースで前のメニューに復帰/プリアンプまたはAVコントローラーでPhono (フォノ) 入力を選択

\* 1桁の数字を入力するには、数字キーを1回押します。2桁の数字を入力する場合、最初の数字キーを押した後、2秒以内に2つ目の数字キーを押します。  
例としては、「15」を入力する場合、「1」を入力した後すぐに「5」を入力します。

## リモコンモード

弊社システムの操作に必要なリモコンの数を最小限に抑えて便利にお使いいただけるよう、リモコンは多くのさまざまな弊社製品の操作ができるよう設計されています。したがってリモコンは以下のように、さまざまなモードでの操作が可能です：

**CDモード** — 「SHIFT」+ 「DVD」を押します。CD機能がリモコン上の主要なキーに割り当てられ、それらのキーのいずれかを押すたびに「CD」のLEDが点灯します。

**DVDモード** — 「DVD」キーを押します。DVD機能がリモコン上の主要なキーに割り当てられ、それらのキーのいずれかを押すたびに「DVD」のLEDが点灯します。(本機はDVDコマンドにも応答します。下記注記をご参照ください)。

**AMPモード** — 「AMP」キーを押します。プリアンプ機能(キーの上または下に青字で印字)がリモコン上の主要なキーに割り当てられ、「AMP」キーのいずれかを押すたびに両方のLEDが点灯します。

**SHIFT機能** 「SHIFT」を押して(2秒以内に)上部分に赤字で印字されたキーのいずれかを押すと、赤字で印字された機能を使用することが可能になります。注記 — 上記の「モード」機能とは異なり、この機能はリモコンには再度割り当てられないため、シフト機能を使用する場合は必ず「SHIFT」キーを押す必要があります。


注記：

リモコンのモードとコントロールされる製品によって、操作可能なキーが異なります。キーによっては特定の製品でしか操作できず、それ以外の製品では機能しないものもあります。本機で使用できるキーについて詳しくは、下記の操作説明をご参照ください。

本機はユーザーオプションの「DVDコマンドの受信」が「YES」に設定されている間は、関連するDVDコマンド(再生、停止、スキップなど)に応答します。リモコンがCDモードの場合やDVDモードの場合でも応答します。(「YES」は工場出荷時の設定です)。

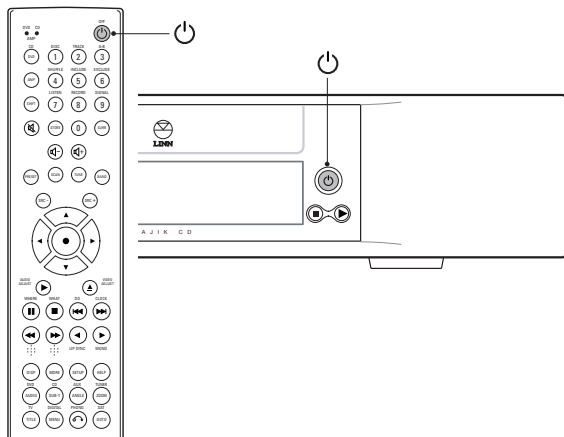


## スタンバイ


最初に電源を入れたとき、本機はスタンバイモードとなり、ディスプレイにはスタンバイのシンボルである  が表示されます。

本機のスタンバイモードを解除する：

- リモコンまたは前面パネルの  を押します。



注記：

前面パネルのキーまたはリモコンのCD機能キーのいずれかを押すことによって、スタンバイモードを解除することも可能です。本機のスタンバイモードを解除するために使用するキーによっては、スタンバイモード解除後そのキーの本来の機能が実行されることがあります。例えば本機がスタンバイ状態の時に  キーを押すと、スタンバイモード解除直後にディスプレイが開きます。

本機をスタンバイモードにする：

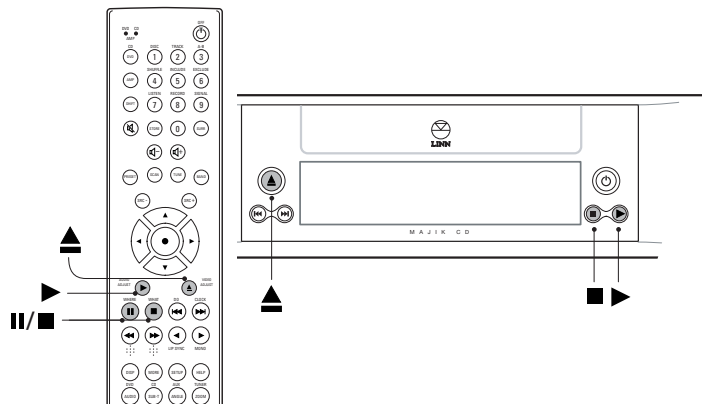
- リモコンまたは前面パネルの  を押します。

注記：

スタンバイモードは消費電力を抑えるため、本機を短時間使用しない場合やリモート操作でスイッチを入れる必要がある場合に適しています。

長時間使用しない場合は、主電源をオフにする (背面の電源スイッチを切るまたは電源プラグを抜く) ことをお勧めします。

## 基本コントロール



### 開 閉

ディスクトレイの開閉をする：

- リモコンまたは前面パネルの ▲ を押して、ディスクトレイを開きます。
- 再度 ▲ を押すとディスクトレイが閉まります。

### ロードと再生

ディスクをロード/再生する：

- リモコンまたは前面パネルの ▲ を押して、ディスクトレイを開きます。
- ディスク（ラベル面を上にして）がカットアウトの中心に位置していることを確認しながら、ディスクトレイに入れます。
- 再度 ▲ を押します。

これでディスクはロードされますが、再生はされません。

- リモコンまたは前面パネルの ▶ を押すと、ディスク再生を開始します。

あるいは

- 上記のようにディスクトレイを開きディスクを挿入します。
- リモコンまたは前面パネルの ▶ を押します。

これでディスクのロードと再生が行われます。

### 一時停止

CDの再生を一時停止する：

- リモコンの || を押します。

再生を再開する：

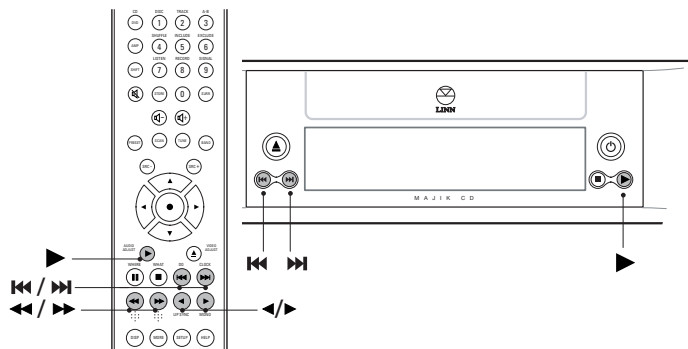
- リモコンまたは前面パネルの ▶ を押します。

### 停 止

CDの再生を停止する：

- リモコンまたは前面パネルの ■ を押します。

## ディスクナビゲーションコントロール



### トラックのスキップ

ディスクの前トラックにスキップする：

- リモコンまたは前面パネルの **⏮** を押します。

ディスクの次のトラックにスキップする：

- リモコンまたは前面パネルの **⏭** を押します。

注記：

「トラックのスキップ」はディスク再生時のみ可能です。

### サーチ

「サーチ」では、2倍速でのディスクのスキanningができます。

注記：

「サーチ」中は、定期的に音が（音量を下げて）出ますので、トラック/ディスクのおおよその再生位置の音を聞き取ることができます。また時間表示も出ますので、ディスク再生位置の目安として役立ちます。

逆サーチする：

- リモコンの **⏪** を押し続けます。  
キーを放すと通常の再生に戻ります。

サーチする：

- リモコンの **⏩** を押し続けます。  
キーを放すと通常の再生に戻ります。

注記：

「サーチ」はディスク再生時のみ可能です。

## 早送りスキャン

「早送りスキャン」を使用すると、キーを押し続けなくても2倍速、4倍速、8倍速、16倍速でディスクをスキャンすることができます。

注記：

「早送りスキャン」中は、定期的に音が(音量を下げて)出ますので、トラック/ディスクのおおよその再生位置の音を聞き取ることができます。また時間表示も出ますので、ディスク再生位置の目安として役立ちます。

### 早戻しスキャンする：

- リモコンの ◀ を押し続けます。

これにより、2倍速での早戻しスキャンを開始します。

さらに ◀ を押すと、スキャン速度が4倍、8倍、16倍となります。  
再度同じキーを押すと通常の再生に戻ります。

### 早送りスキャンする：

- リモコンの ▶ を押します。

これにより、2倍速での早送りスキャンを開始します。

さらに ▶ を押すと、スキャン速度が4倍、8倍、16倍となります。  
再度同じキーを押すと通常の再生に戻ります。

### 再生を再開する：

次のいずれかの操作を行います。

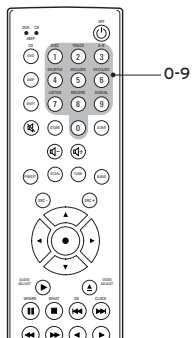
- 通常の再生が再開されるまで、◀ または ▶ を繰り返し押します。  
あるいは
- 早送りスキャン中に ▶ を押します。

注記：

「早送りスキャン」はディスク再生時にのみ可能です。

## ダイレクトトラックアクセス

リモコンの数字キーを使用して、再生したいトラックにダイレクトに飛ぶことができます。



### 1桁の数字を入力する：

- リモコンの適切な数字キーを押します。

例えば、トラック5に飛びたい場合、「5」キーを1回押します。

キーを放して2秒後(本機が2桁目の数字入力の有無を待機して確認した後)に選択したトラックに飛びます。

注記：

1桁の番号のトラックに2秒待たずに飛びたい場合、数字キーを押した「enter」を押してください。

### 2桁の数字を入力する：

- リモコンで最初の数字キーを押した後、2秒以内に2つ目の数字キーを押します。

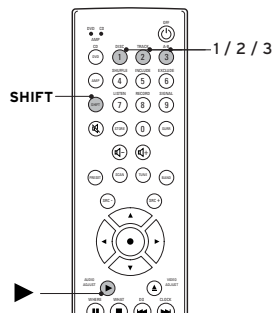
例としては、「15」を入力する場合、「1」を入力した後すぐに「5」を入力します。

注記：

「ダイレクトトラックアクセス」は、ディスクの再生、停止、取り出し(ディスクがディスクトレイにある場合)のいずれの時でも行うことができます。

ディスクに存在しないトラック番号を入力した場合、その指示は無視されます。

## その他のコントロール



### Repeat (繰り返し再生)

「repeat」機能を使用すると、ディスクの全部または一部を繰り返し再生できます。

### Repeat disc (ディスクの繰り返し再生)

ディスクを全て繰り返し再生する：

- ディスク再生を開始します。
- リモコンの「DISC」を押します (「SHIFT」+「1」)。

本機のディスプレイに「ALL」が表示され、「Repeat disc」機能が使用中であることを示します。ディスクは操作がキャンセルされるまで繰り返し再生されます。

「Repeat disc」機能をキャンセルする：

- 再度リモコンの「DISC」を押します (「SHIFT」+「1」)。

あるいは

- ディスクを取り出します。

### Repeat track (トラックの繰り返し再生)

1つのトラックを繰り返し再生する：

- ディスク再生を開始します。
- スキップまたは数字キー入力で繰り返ししたいトラックまで飛びます (上記「ダイレクトトラックアクセス」をご参照ください)。
- リモコンの「TRACK」を押します (「SHIFT」+「2」)。

本機のディスプレイに「ONE」が表示され、「Repeat track」機能が使用中であることを示します。トラックは操作がキャンセルされるまで繰り返し再生されます。

注記：

「Repeat track」機能はディスクの別のトラックを選択しても継続されます。つまり新しいトラックが最初に選択したトラックの代わりに繰り返し再生されます。

「Repeat track」機能をキャンセルする：

- 再度リモコンの「TRACK」を押します (「SHIFT」+「2」)。

あるいは

- ディスクを取り出します。

## Repeat A-B (A-Bの繰り返し再生)

ディスクの特定セクションを繰り返し再生する：

- ディスク再生を開始します。
- ディスクの中で繰り返し再生したいセクションの開始点 (ポイント「A」) に移動します。
- リモコンの「A-B」を押します ([SHIFT]+「3」)。

本機のディスプレイに「A-」と表示されます。本機はポイントBの入力待機状態となっています。

- 繰り返し再生したいセクションの終点 (ポイントB) に到達するまでディスク再生を続けます。
- 再度リモコンの「A-B」を押します ([SHIFT]+「3」)。

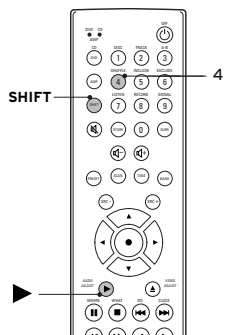
本機のディスプレイに「A-B」と表示され、ポイント「A」からの再生が開始されます。ポイント「B」まで到達すると、本機はポイント「A」に戻り、「Repeat A-B」がキャンセルされるまでこのセクションの再生を繰り返します。

「Repeat A-B」機能をキャンセルする：

- 再度リモコンの「A-B」を押します ([SHIFT]+「3」)。  
あるいは
- ディスクを取り出します。

## Shuffle (シャッフル)

Shuffle 機能では、ディスクのトラックをランダムに再生します。



### Shuffle 機能を使用可能にする :

- ディスクをロードします。再生はしないでください (再生中の場合は停止させます)。
- リモコンの「SHUFFLE」を押します (「SHIFT」+「4」)。

ディスプレイに「SHF」が表示され、「Shuffle」機能が使用中であることを示します。

- リモコンまたは前面パネルの ▶ を押します。

ディスクのトラックがランダムな順序で再生されます。

### Shuffle 機能をキャンセルする :

- ディスクを停止します。
- 再度リモコンの「SHUFFLE」を押します (「SHIFT」+「4」)。

あるいは

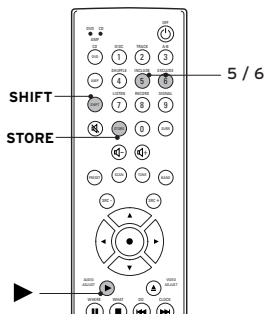
- ディスクを取り出します。

### 注記 :

シャッフルモードではSKIP BACK (後ろにスキップ) することはできません。



## ディスクプログラミング (「Include (追加)」機能と「Exclude (除外)」機能)



Program (プログラム) 機能によって、ディスク再生方法をカスタマイズすることができます。ディスクから複数のトラックを選択してお好みの順序で再生 (Include) したり、特定のトラックを除いて通常の再生 (Exclude) をしたりすることも可能です。

注記:

Disc programming (ディスクプログラミング) 機能は、CDでのみ使用できます。

### 「Include」機能

「include」機能を使用可能にする:

- ディスクをロードします。再生はしないでください (再生中の場合は停止させます)。
- リモコンの「INCLUDE」を押します (「SHIFT」+「5」)。
- リモコンの数字キーを使用して (上記の「ダイレクトトラックアクセス」をご参照ください)、再生リストに追加したい最初のトラックの番号を入力します。

- 選択したトラックを確定するには、リモコンの「STORE」を押します。

選択したトラックが再生リストに追加されます。

- 上記の手順を繰り返し、必要に応じてさらにトラックを追加し、選択するたびに「STORE」を押して確定します。
- 再生リストが完成したら、リモコンまたは前面パネルの ▶ を押してプログラム化したリストによる再生を行います。

ディスプレイに「INC」が表示され、「include」プログラムが使用中であることを示します。

注記:

「include」プログラムへのトラックの追加は何度でも行うことができます。

### 「include」機能をキャンセルする:

- 再度リモコンの「INCLUDE」を押します (「SHIFT」+「5」)。
- あるいは
- ディスクを取り出します。

### 「Exclude」機能

「exclude」機能を使用可能にする:

- ディスクをロードします。再生はしないでください (再生中の場合は停止させます)。
- リモコンの「EXCLUDE」を押します (「SHIFT」+「6」)。
- リモコンの数字キーを使用して (上記の「ダイレクトトラックアクセス」をご参照ください)、再生リストから除外したい最初のトラックの番号を入力します。

- 選択したトラックを確定するには、リモコンの「STORE」を押します。

選択したトラックが除外したトラックのリストに追加されます。

- 上記の手順を繰り返し、必要に応じてさらにトラックを除外し、選択するたびに「STORE」を押して確定します。
- 再生リストが完成したら、リモコンまたは前面パネルの ▶ を押してディスクを再生します。その際プログラム選択したトラックは除外されます。

ディスプレイに「EXC」が表示され、「exclude」プログラムが使用中であることを示します。

#### 「exclude」機能をキャンセルする：

- 再度リモコンの「EXCLUDE」を押します（「SHIFT」+「6」）。
- あるいは
- ディスクを取り出します。

## ディスプレイ

リモコンの「DISP (ディスプレイ)」キーによって、数多くのディスプレイオプションを選択することができます。

注記：

「DISP」キーはディスク再生時のみ操作可能です。

ディスプレイは常に下記のフォーマットで表示されます：MM:SS  
(分：秒)

#### ディスプレイオプションを使用する：

- リモコンの「DISP」を繰り返し押して、下記ディスプレイオプションを選択します：

**DISC TYPE (ディスクタイプ)** — 現在再生中のディスクのタイプを表示します (CD、HDCD など)。再生可能なディスクのタイプについては1ページをご参照ください。

**TRACK / TOTAL (トラック/全トラック数)** — 現在再生中のトラック番号と、ディスクの全トラック数を表示します。

**TRACK ELAPSED (トラックの経過時間)** — 現在再生中のトラックで経過した時間を表示します。

**TRACK REMAINING (トラックの残り時間)** — 現在再生中のトラックで残っている時間を表示します。

**DISC ELAPSED (ディスクの経過時間)** — ディスクの経過した時間を表示します。

**DISC REMAINING (ディスクの残り時間)** — ディスクの残っている再生時間を表示します。

注記：

MP3ディスクで使用可能なオプションは、Disc Type、Track Elapsed、Folder / File Name (フォルダー/ファイル名) です。

## MP3ディスクを再生する

### MP3トラックを再生する：

- ディスクを通常通りロードします。

ディスプレイにメニューが表示され、ディスクに保存されたフォルダーとトラックが表示されます。

- トラックまたはフォルダー内のトラックに飛びたい場合、△と▽を使用して再生したいトラックを含むフォルダーを選択します。
- 「enter」を押して選択します。

フォルダーの内容がリスト表示されます。

- 再生したいトラックを選択します (再度 △ と ▽ を使用します)。
- 「enter」または ▶ を押して選択したトラックを再生します。

選択したトラックと、同じフォルダーまたはリスト内の後続するトラックが再生されます。

## セットアップ (ユーザーオプション)

ユーザーオプションは、特殊な設置状態で動作させる場合、希望に合わせて操作の一部をカスタマイズする場合、重要な機能データを確認する場合、における本機の設定をするために使用できます。

### Setupメニューに入り選択する：

(リモコン使用)

- 「SETUP」を押します。
- △/▽を使用して、メニュー内のオプション間を上下します。
- オプションを選択するには、▷または「enter」を押します。
- 前のオプションまたはメニューに戻るには、◁を押します。
- 「SETUP」を押し、セットアップモードから出ます。

現在有効のオプション (デフォルトまたは選択したもの) は、横にチェックマークが付いた状態で表示されます。

(フロントパネル使用)

- ▲を押し続けます。
- ■ / ▶ を使用して、メニュー内のオプション間を上下します。
- オプションを選択するには、▶▶または⏪を押します。
- 前のオプションまたはメニューに戻るには、◀◀を押します。
- ▲を押し、セットアップモードから出ます。

「Setup」には以下のように、3つの主要なメニューがあります：

Setup Language (設定言語)

Display Configuration (ディスプレイ設定)

Audio Configuration (音声設定)

Unit Configuration (機器設定)

## Setup Language (設定言語)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
Setup Language (設定言語)	English (英語) Français (フランス語) Deutsch (ドイツ語) Italiano (イタリア語) Español (スペイン語)	セットアップメニューで使用する言語を選択します。	English (英語)

## Display Configuration (ディスプレイ設定)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
Display Brightness (ディスプレイの輝度)	Auto (自動) Percentage (パーセンテージ) (2 ~ 100%)	「Auto」に設定した場合、ディスプレイの輝度は周囲の明るさに応じて変化します (周囲が暗い場合、ディスプレイは周囲と同じまたはそれ以上に明るくなり、周囲が明るい場合、ディスプレイは周囲と同じまたはそれ以上に暗くなります)。 「Percentage」に設定した場合、設定値を2% ~ 100%の間で選択します。ディスプレイの輝度は (スタンバイモード解除中)、指定した輝度の設定値を維持します。 パーセンテージを選定した後、「AUTO」を再度選択したい場合は、パーセンテージ設定を0%まで下スクロールしていくと、0%が表示される場所にAUTOオプションが表示されます。	100%
Sleep Display Delay (スリープ ディスプレイ遅延)	Off 10秒刻みで遅延を設定 (最大5分)	「Off」に設定すると、本機のディスプレイはスリープモードになりません (スタンバイモード解除中)。 「Delay...」に設定すると、時間設定を選択します。最後のコマンドを受信してから、ディスプレイがスリープモードになるまでの時間を決定します。	Off

## Audio Configuration (音声設定)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
SPDIF Out (SPDIF出力)	Off Raw LtRt PCM	本機をスタンドアロンでご使用の場合、「Off」に設定してください(「DIGITAL OUT」からの出力はありません)。外部DAC(デジタル/アナログ変換器)をご使用の場合、「Raw」(「DIGITAL OUT」からのデータはソースデータと同一)に設定します。外部デジタルソース(DATプレーヤーなど)へ録音する場合、「LtRt PCM」に設定します。	LtRt PCM

## Unit Configuration (機器設定)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
Handset Commands Accepted (リモコンからの コマンドの受信)	YES NO	「YES」に設定した場合、リモコンからのコマンドに応答します。 「NO」に設定した場合、リモコンからのコマンドに応答しません。 注一 このオプションが「No」に設定されていると、リモコンからのセットアップはできません。フロントパネル使用でセットアップにアクセスする必要があります。前記のSetupメニューに入り選択するをご参照下さい。	YES
Accept DVD Commands (DVDコマンドの 受信)	YES NO	「YES」に設定した場合、リモコンがDVDモードであってもCDモードであっても、リモコンからのPlay、Pause、Stop、Skip等の本機関連DVDコマンドが本機にて受信可能になります。 「NO」に設定した場合、これらのコマンドはリモコンがCDモードの場合にのみ受信されます。 注記一 リモコンのモードについては詳しくは、「操作」の「リモコン」の項をご参照ください。	YES
Remote In to Remote Out (リモート入力から リモート出力)	YES NO	「YES」に設定した場合、REMOTE IN端子で受信したリモートコマンドは、REMOTE OUT端子を通じて他の製品に中継されます。 「NO」に設定した場合、リモートコマンドは本機にのみ受信され、他の製品には中継されません。	YES
IR to Remote Out (赤外線入力から リモート出力)	YES NO	「YES」に設定した場合、前面パネルの赤外線センサーで受信したリモートコマンドはREMOTE OUT端子を通じて他の製品に中継されます。 「NO」に設定した場合、リモートコマンドは本機にのみ受信され、他の製品には中継されません。	NO

## Unit Configuration (機器設定) (続き)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
Baudrate (ボーレート)	4800 9600 14400 19200 28800 38400 57600 115200 230400	データ転送速度を決定します — RS232 用	9600
RS232 Start Message (RS232 スタート メッセージ)	YES NO	「YES」に設定した場合、本機のスタンバイモードが解除された際に、本機がアクティブであることを知らせるメッセージを RS232 OUT 端子経由で他の RS232 機器に送信します。 「NO」に設定した場合、上記のメッセージは送信されません。	YES
RS232 EVENTS (RS232 情報通信)	YES NO	「YES」に設定した場合、本機のステータスに変更 (トラック変更など) が生じるたびに RS232 OUT 端子経由でメッセージが送信されます。これにより、RS232 コントロール機器が本機と同調することができます。 「NO」に設定した場合、上記のメッセージは送信されません。	YES
Reset Defaults (デフォルト設定の リセット)	Reset Display Defaults (ディスプレイ 初期設定の復帰)  Reset Unit Defaults (デフォルト機器 設定のリセット)  Reset Factory Defaults (工場出荷時設定の リセット)	Reset Display Defaults (ディスプレイ初期設定の復帰) — 「Display Configuration」メニュー内の全オプションを工場出荷時の設定に戻します。  Reset Unit Defaults (デフォルト機器設定のリセット) — 「Unit Configuration」メニュー内の全オプションを工場出荷時の設定に戻します。  Reset Factory Defaults (工場出荷時設定のリセット) — 全メニュー内の全オプションを工場出荷時の設定に戻します。	N/A

## Unit Configuration (機器設定) (続き)

オプション	設定	内容	デフォルト設定
Unit Information (ユニット情報)	H8 S/Wバージョン ESS S/Wバージョン Base Code S/W バージョン FPGA S/W バージョン MECH S/W バージョン エンジンボードID 前面パネルボードID 電源ON時間 操作時間	<p>本機の機能上の仕様について下記のような詳細を確認することができます。このカテゴリは主として弊社スタッフおよび弊社指定サービス代理店による使用を意図しています。各見出しを選択すると関連するデータが表示されます。</p> <p>注記 — 「ユニット情報」カテゴリでは設定変更できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● H8 S/Wバージョン — H8ソフトウェアのバージョン変更に関する情報を示します。</li> <li>● ESS S/Wバージョン — ESSソフトウェアのバージョン変更に関する情報を示します。</li> <li>● Base Code S/Wバージョン — Base Codeソフトウェアのバージョン変更に関する情報を示します。</li> <li>● FPGA S/Wバージョン — FPGAソフトウェアのバージョン変更に関する情報を示します。</li> <li>● MECH S/Wバージョン — レーザーメカニズムソフトウェアのバージョン変更に関する情報を示します。</li> <li>● エンジンボードID — CDエンジン/オーディオボードのIDとバージョンの変更番号を示します。</li> <li>● 前面パネルボードID — コントロールボードのIDとバージョンの変更番号を示します。</li> <li>● 電源ON時間 — 本機の電源が入ってから経過時間を示します。</li> <li>● 操作時間 — 本機のスタンバイモードが解除されてからの経過時間を示します。</li> </ul>	N/A

## 仕様

対応ディスクタイプ	CD / CD-R / CD-RW / DTS AUDIO / MP3 / HDCD
アナログ出力端子	RCA Phono (RCA フォノ)
出力インピーダンス (アナログ)	300 Ω +/-5% Unbalanced
デジタル出力端子 COAXIAL (同軸) OPTICAL (光)	RCA Phono (RCA フォノ) TOSLINK
出力インピーダンス (デジタル)	75 Ω +/-5%
チャンネルバランス	0.05 dB 以下、20 Hz - 20 kHz
セパレーション	+90 dB 以上、20 Hz - 20 kHz
ダイナミックレンジ	97 dB, 22 kHz BW
周波数特性	20 Hz - 20 kHz, +/-0.3 dB
サンプリング周波数	44.1 kHz
SN比	100 dB, 22 kHz BW
ハーモニックディストーション (THD+N)	0.004% 以下、20 Hz - 20 kHz
出力電圧	2.0 V +/-0.1 V RMS
推奨最小負荷抵抗	5 k Ω
消費電力 スタンバイ時: 作動時:	4 W 17 W
主電源入力電圧 スイッチモード (自動検出)	90 ~ 135 Vac, 180 ~ 265 Vac @ 50/60 Hz +/-10%
フューズ定格	T800 mA-L
外形寸法	381 mm (w) x 80 mm (h) x 355 mm (d) 15 1/16" (w) x 3 1/8" (h) x 14 (d)
梱包寸法	520 mm (w) x 220 mm (h) x 490 mm (d) 20 1/4" (w) x 8 3/4" (h) x 19 1/4" (d)
重量	4.90 kg, 10.78 lb
梱包重量	7.4 kg, 16.28 lb
コントロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前面パネルに6つのコントロールキー</li> <li>● リモートコントロール可能 (付属のリモコン)</li> <li>● RS232 互換機器によるコントロール用RS232 入出力</li> <li>● Linn KNEKT によるコントロール用または他の弊社機器とのコマンドの送受信中継用のリモート入出力</li> </ul>



## 保証とサービス

この製品はお買い上げになった国できちんとご使用いただけるように調整されており、あなたの合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に付随する登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早くご返送ください。あるいは、www.linn.co.ukにて保証登録していただけます

### 警告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応しています。

### 技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問い合わせは、最寄りの販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください。

販売店に関してはホームページをご覧ください。

[www.linn.co.uk](http://www.linn.co.uk)

[www.linn.jp](http://www.linn.jp)

### 重要

- 製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。
- 修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

### Linn Products Limited

Glasgow Road  
Waterfoot  
Eaglesham  
Glasgow G76 0EQ  
Scotland, UK

電話: +44 (0)141 307 7777  
FAX: +44 (0)141 644 4262  
ヘルプライン: 0500 888909  
電子メール: [helpline@linn.co.uk](mailto:helpline@linn.co.uk)  
Web サイト: [www.linn.co.uk](http://www.linn.co.uk)

### Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard  
Jacksonville  
FL 32216  
USA

電話: +1 (904) 645 5242  
FAX: +1 (904) 645 7275  
ヘルプライン: 888-671-LINN  
電子メール: [helpline@linninc.com](mailto:helpline@linninc.com)  
Web サイト: [www.linninc.com](http://www.linninc.com)

### Linn Deutschland GmbH

Hühnerposten 1d  
D-20097 Hamburg  
Germany

電話: +49-(0) 40-890 660-0  
FAX: +49-(0) 40-890 660-29  
電子メール: [info@linngmbh.de](mailto:info@linngmbh.de)  
Web サイト: [www.linn.co.uk](http://www.linn.co.uk)

